

## ま え が き

昭和 37 年度に設立された本校は、これまで 43 年の歴史の中で、5 年間一貫の技術教育の下、創造力と実行力を持つ実践的な技術者の養成に努めてきました。この間、産業構造や社会的要請の変化に対応した学科の新設や見直し、専攻科の設置および密接に関連する複合型システム工学教育プログラム（日本技術者教育認定機構（JABEE）対応プログラム）の創設、産学連携・地域連携の中核を担う地域共同テクノセンターの設置等を含む、多くの改革等を進めてきています。平成 16 年 4 月からは、独立行政法人化に伴い、国立高等専門学校機構の下で運営されています。

組織がその設立目的や設定した目標に沿って十分に機能しているかどうかの判断には、普段の自己点検・評価および外部有識者による評価が実施され、その評価に基づく自己改革がなされているかどうか重要かつ不可欠な基準となると認識しています。そのため本校では、平成 16 年度より、運営委員会自己点検・評価部会の下に「自己点検・評価ワーキンググループ」を設置して組織的な自己点検・評価を実施し、その結果を平成 17 年 9 月に報告書（「自己点検・評価報告書－函館高専の現状・課題と改善の方向について－」）として取りまとめ、公表したところです。

この度、この自己点検・評価報告書に基づき外部有識者の皆様からの評価をいただくために、外部評価委員会を設置して評価を頂戴しました。本報告書は、その結果を取りまとめ、公表するものです。北海道大学副学長 佐伯 浩 委員長をはじめ、外部評価委員の皆様からは本校に対する評価と貴重なご意見を頂戴することができました。今後は、頂戴した貴重なご意見をも踏まえ、自己改革努力を一層積み上げる所存でおります。

委員の皆様のご尽力に心より感謝を申し上げます。次第です。

函館工業高等専門学校長 長谷川 淳

